

# 学生による地域課題解決提案事業 成果報告 2015/11/20

発表者：岐阜大学教育学部 理科教育講座(生物)「こども自然環境学習サポーターズ」

須山研究室 加藤美岬、吉本彩乃、沢村祐輝

代表者氏名(教員)：岐阜大学教育学部 理科教育講座(生物) 須山知香

1. テーマ： 地域博物館等との連携による子供達への自然環境教育の推進

2. 調査研究や実践活動の名称： こども自然環境学習サポーターズ

3. 調査研究・実践活動の概要と本年度の成果：

今年度、一宮市尾西歴史民俗資料館の学芸部より、教育学部理科教育講座(生物)の学生に対して、子供を対象とした企画展へ是非参加して欲しいとの依頼があった。日頃より地域の自然に関心が高く、かつ子供達への自然環境教育に意識の高い学生へこの事を紹介したところ、活動したいという有志が集まった。

そこで、6月の中旬には担当学芸員と指導教員の須山との打ち合わせを行い、6月下旬に2回の野外調査および高校生との交流会を実施した。その成果を地域へ還元するイベント[一宮市尾西歴史民俗資料館 2015 年度夏季企画展 木曾川子どもユニバーシティ平成 27 年 7 月 25 日(土)~8 月 30 日(日)]へ参加した。

4. 問題解決提案の方向性：

博物館からの問題提起が、「子供達への教育普及を、若い世代で行う試みをしたいが、その担い手を捜すのに苦労している」というものであった。

本企画では、自ら参加する意欲のある学生が、地域における博物館、高校・大学および地域住民をつなぐ役割を果たした。「自然教育の担い手不足」という問題に対して、教育普及の促進へ貢献できた。この企画により結成できた学生グループにより、今後も、地域博物館等の教育系機関と学生が協働した地域自然調査を継続していきたい。

## 地域博物館等と「こども自然学習サポーターズ」の連携による 子どもたちへの自然環境学習の推進



## 5. 活動実績と今後の予定

- 6月上旬 指導教員と博物館担当者との打ち合わせ  
6月下旬 企画展に向けた木曾川河川敷の夏季自然調査(第1回)  
高校生との交流会  
7月上旬 博物館担当者による大学での実習等への取材→紹介ビデオの作成  
7月下旬 夏季企画展 7月25日(土)～8月30日(日)展示協力  
9月中旬 秋季自然調査(第2回)  
10月下旬 秋季自然調査(第3回)  
(ここまでは実施済み)
- 12月 「身近な自然の実物標本貸出セット」試作品製作と試用  
来年以降 企画展『学生が見つけた木曾川の楽しい生き物』(仮題)開催  
普及教育に使用できる標本の作成  
地域の自然調査の継続及び研究者との交流  
子ども向け自然環境教育イベントの企画と実施



学生グループによる  
一宮市尾西歴史民俗資料館近隣の  
木曾川河川敷植生調査



一宮市尾西歴史民俗資料館 企画展  
「木曾川子どもユニバーシティ」  
平成27年7月25日(土)～8月30日(日)  
展示風景